

平成30(2018)年

# コンベンション統計



一般財団法人  
熊本国際観光コンベンション協会  
Kumamoto International Convention and Tourism Bureau

# 目 次

1. 統計作成要領	・・・1
2. 統計結果概要	・・・2
3. 統計及び分析	
(1) 大会規模別	・・・3
(2) 形態別	・・・4
(3) 分野別	・・・5
(4) 参加者数別	・・・6
(5) 月別	・・・8
<参考資料>	・・・10

## 1. 統計作成要領

本統計は、熊本市及びその周辺地域で開催されたコンベンション等の実態を把握し、今後の誘致促進及び誘致活動の基礎資料とすることを目的として、下記の要領で調査を実施し、回答されたデータ及び当協会の助成対象データを基に作成した。

### (1) 対象コンベンション

熊本市及びその周辺地域（注）で開催されたコンベンション等のうち以下のもの。

- ・九州大会以上の規模で開催され、県外参加者が 30 名以上のコンベンション（学会議、組織大会、セミナー、シンポジウム等）及びスポーツコンベンション
- ・県外参加者が 20 名以上のスポーツキャンプ

（注）周辺地域とは、参加者が熊本市内に宿泊する条件で開催可能な地域【例】益城町（グランメッセ熊本）など

### (2) 対象期間

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日

### (3) 調査方法

コンベンション施設、ホテル・宿泊施設、スポーツ団体、大学、行政関係等に対して、FAX または E メールで調査票を配布し、後日回収した（配布件数 138 件、回収率 61.5%）。

## 2. 統計結果概要

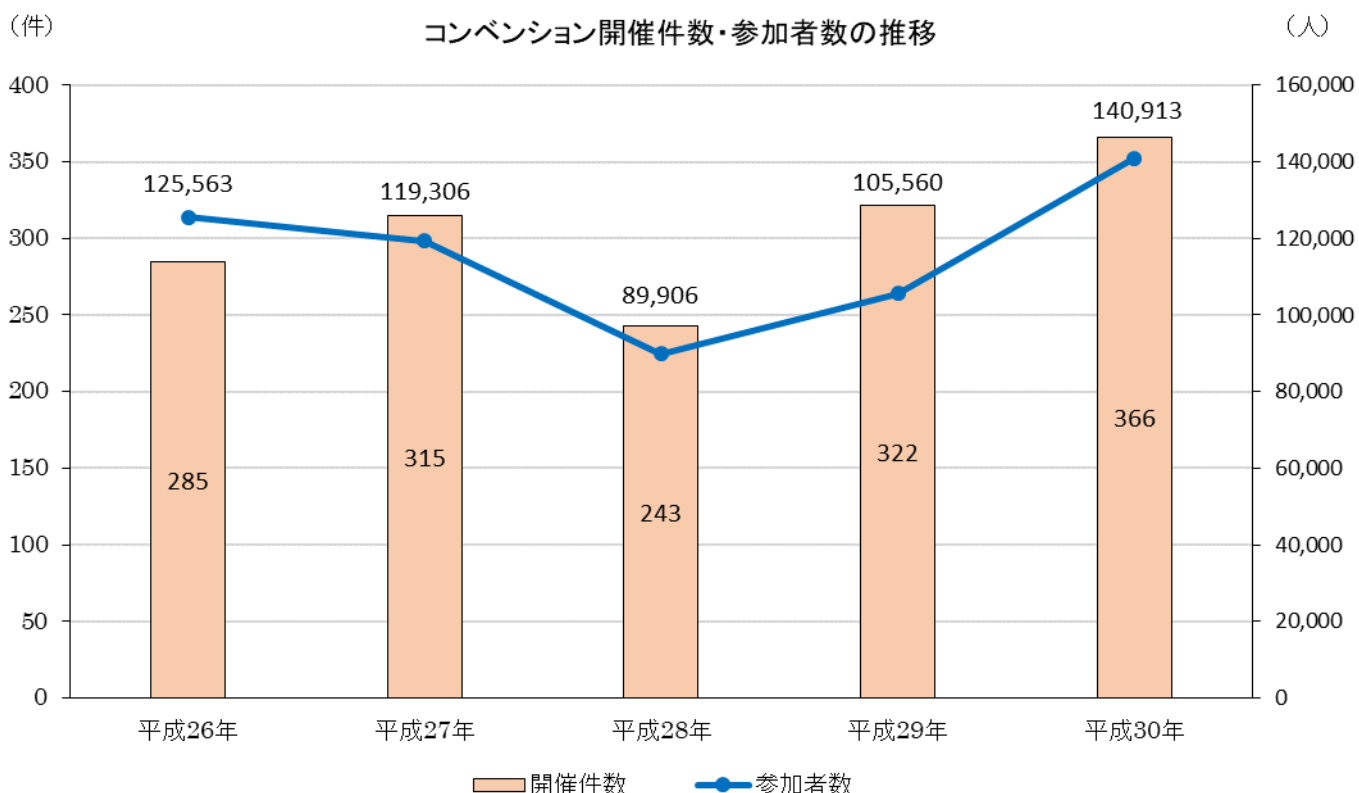
平成30年(2018年)の熊本市及びその周辺地域でのコンベンション開催件数は366件(前年比113.7%)で前年より44件の増加、参加者数は140,913人(前年比133.5%)で前年より35,353人の増加となった。

全国・九州規模のスポーツコンベンションや組織／団体コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、開催件数・参加者数ともに近年で最も高い水準に達した。持ち回りのスポーツコンベンションの開催が集中したこと、熊本地震からの復興支援・視察の目的・意味合いを兼ねたコンベンションの開催が前年に引き続き多かったこと等が主な増加要因として挙げられる。

また、近年は1,000人以上の大規模コンベンションの減少並びに100名未満の小規模コンベンションの増加が続いていたが、平成30年は500人以上の中・大規模コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、開催1件あたりの参加者数は平成26年に次ぐ水準に至った。

### ■ コンベンション開催件数・参加者数・平均参加者数の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年		
					実績	対前年比	増減
開催件数 (件)	285	315	243	322	366	113.7%	44
参加者数 (人)	125,563	119,306	89,906	105,560	140,913	133.5%	35,353
1件あたりの 参加者数(人)	441	379	370	328	385	117.4%	57



### 3. 統計及び分析

#### (1) 大会規模別

「全国」「九州」で開催件数・参加者数ともに増加となり、スポーツコンベンションや組織／団体コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、近年で最も高い水準に達した。また、「全国」「九州」の2区分で全体の90%を超える構成比となった。

「国際」の開催件数は減少したものの、2019女子ハンドボール世界選手権に向けた大規模スポーツコンベンションの開催により、参加者数は前年よりも増加となった。

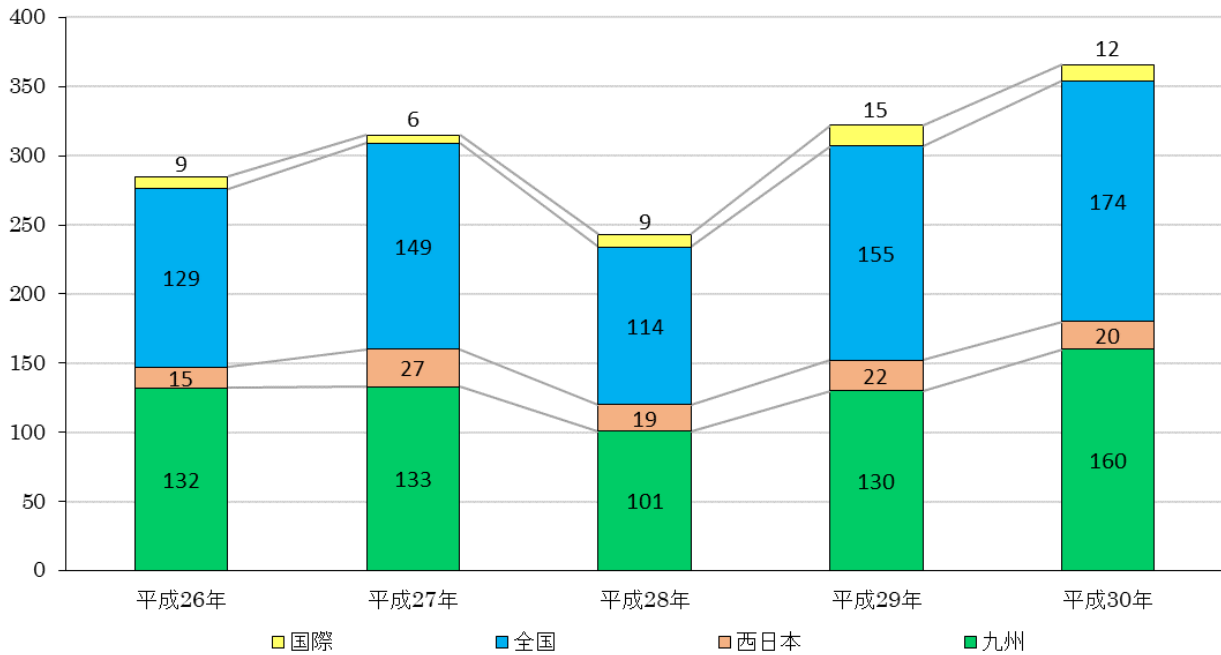
#### ■大会規模別開催件数の推移

(単位：件)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
国際	9	6	9	15	12	3.3%	80.0%	▲ 3
全国	129	149	114	155	174	47.5%	112.3%	19
西日本	15	27	19	22	20	5.5%	90.9%	▲ 2
九州	132	133	101	130	160	43.7%	123.1%	30
計	285	315	243	322	366	100.0%	113.7%	44

(件)

大会規模別開催件数の推移



#### ■大会規模別参加者数の推移

(単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
国際	11,448	1,222	3,202	4,840	5,962	4.2%	123.2%	1,122
全国	63,714	59,934	51,982	56,056	72,797	51.7%	129.9%	16,741
西日本	4,880	7,781	3,217	5,826	4,951	3.5%	85.0%	▲ 875
九州	45,521	50,369	31,505	38,838	57,203	40.6%	147.3%	18,365
計	125,563	119,306	89,906	105,560	140,913	100.0%	133.5%	35,353

(2) 形態別

「組織／団体」で開催件数・参加者数ともに増加となり、開催件数は教育・福祉、経済・産業、政治・行政分野のコンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、参加者数は教育・福祉、その他分野の大規模コンベンションの開催により、近年で最も高い水準に達した。

「スポーツ」でも開催件数・参加者数ともに増加となり、全国・九州規模のスポーツコンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、開催件数は平成27年に次ぐ高い水準に至り、参加者数は近年で最も高い水準に達した。

「学術」の開催件数は減少したものの、経済・産業分野の大規模コンベンションの開催により、参加者数は前年よりも増加となった。

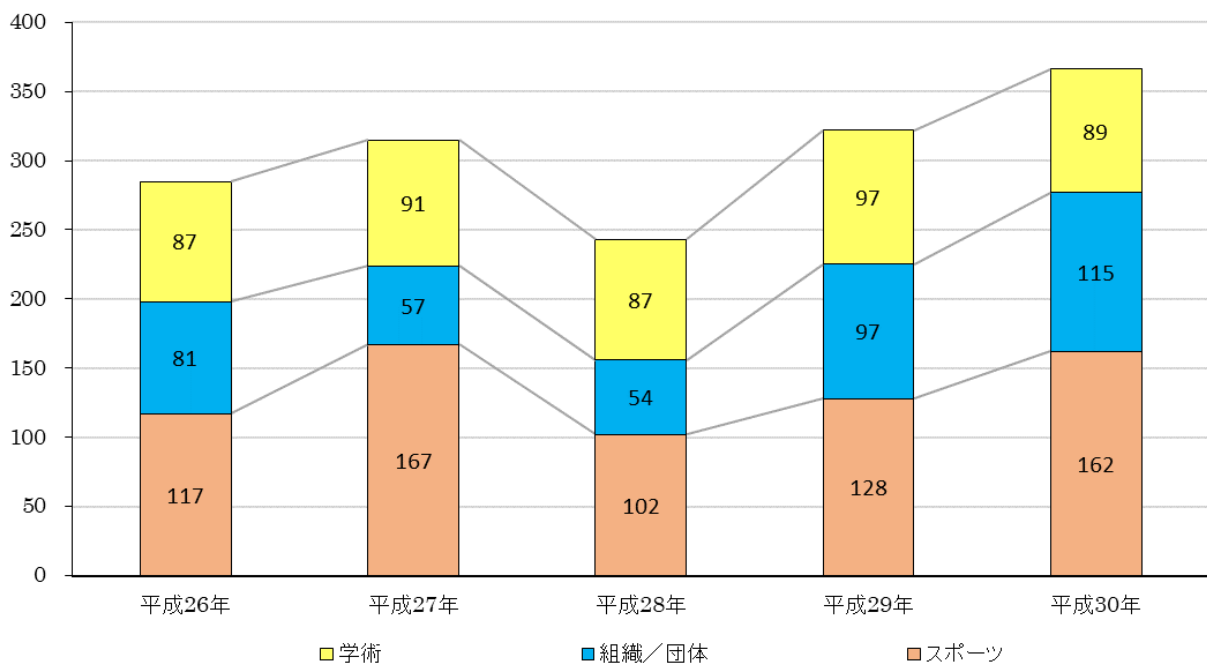
■ 形態別開催件数の推移

(単位：件)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
学術	87	91	87	97	89	24.3%	91.8%	▲ 8
組織／団体	81	57	54	97	115	31.4%	118.6%	18
スポーツ	117	167	102	128	162	44.3%	126.6%	34
計	285	315	243	322	366	100.0%	113.7%	44

(件)

形態別開催件数の推移



■ 形態別参加者数の推移

(単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
学術	39,551	30,041	26,719	24,660	26,977	19.1%	109.4%	2,317
組織／団体	30,875	21,364	19,000	34,839	37,429	26.6%	107.4%	2,590
スポーツ	55,137	67,901	44,187	46,061	76,507	54.3%	166.1%	30,446
計	125,563	119,306	89,906	105,560	140,913	100.0%	133.5%	35,353

### (3) 分野別

開催件数は「医学・薬学」「その他」を除いた区分で増加となり、持ち回りの開催や熊本地震からの復興支援・視察の意味合いを兼ねた開催が多かったことにより、「経済・産業」「政治・行政」「文学・法律」「工学・理学」は近年で最も高い水準に達した。

参加者数は「医学・薬学」「工学・理学」を除いた区分で増加となり、「経済・産業」「文学・法律」や大規模開催のあった「スポーツ」「その他」は近年で最も高い水準に達した。

「医学・薬学」は開催件数・参加者数ともに近年で最も低い水準となり、令和元年の熊本城ホールのオープン以降に合わせた開催計画・日程調整が行われた可能性が考えられる。

「スポーツ」を除く区分では、「教育・福祉」「医学・薬学」で平均開催件数が40件、平均参加者数が1万7千人を超える高い水準となり、熊本大学をはじめとした教育・研究機関や種々の組織／団体が主催者となるコンベンションの開催が他分野よりも多いと考えられる。

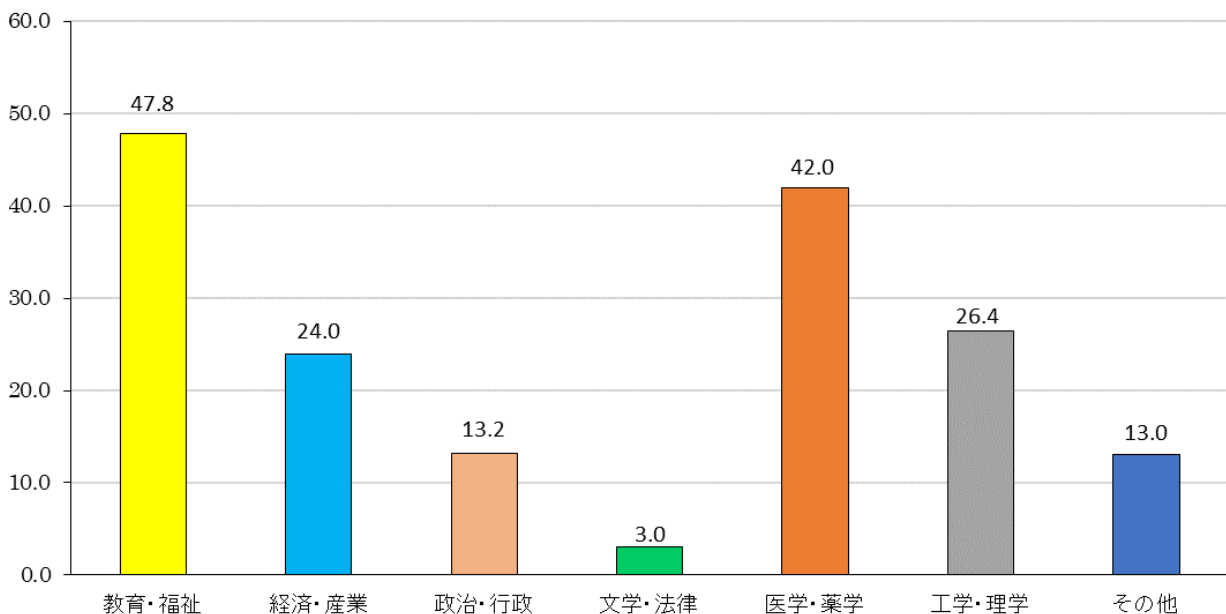
### ■ 分野別開催件数の推移

(単位：件)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			平均	
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)		増減
教育・福祉	56	45	46	43	49	13.4%	114.0%	6	47.8
経済・産業	29	14	13	28	36	9.8%	128.6%	8	24.0
政治・行政	15	16	5	13	17	4.6%	130.8%	4	13.2
文学・法律	1	3	1	4	6	1.6%	150.0%	2	3.0
医学・薬学	37	44	45	47	37	10.1%	78.7%	▲10	42.0
工学・理学	19	23	24	32	34	9.3%	106.3%	2	26.4
スポーツ	117	167	102	132	166	45.4%	125.8%	34	136.8
その他	11	3	7	23	21	5.7%	91.3%	▲2	13.0
計	285	315	243	322	366	100.0%	113.7%	44	306.2

(件)

分野別平均開催件数(H26-H30)



※スポーツを除く

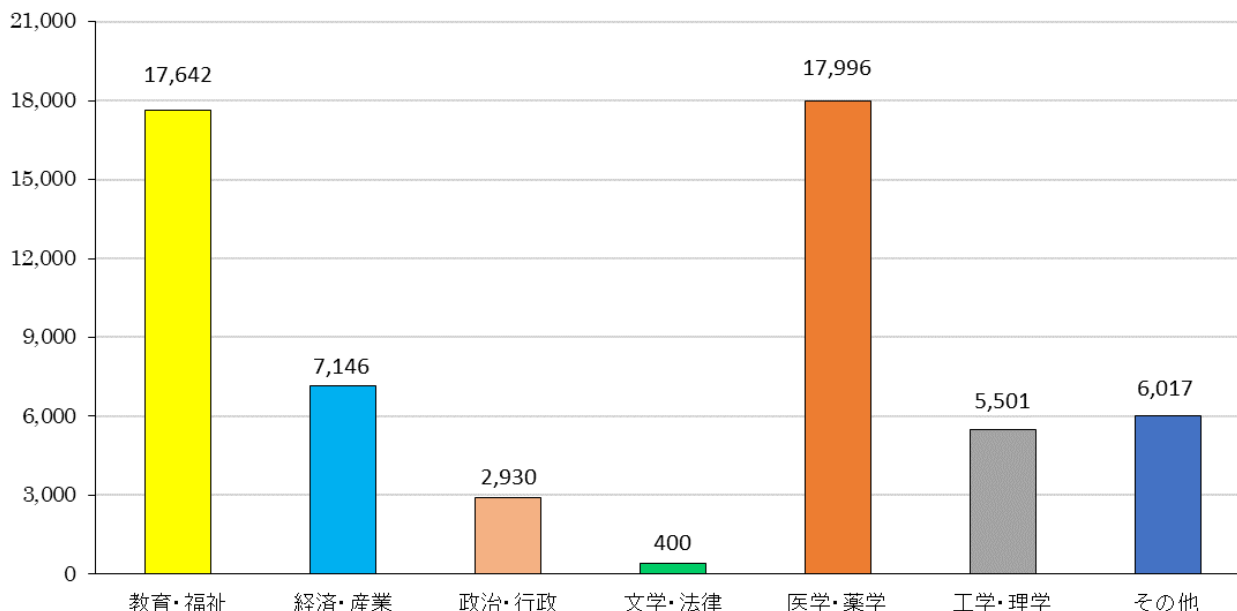
■ 分野別参加者数の推移

(単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			平均	
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)		増減
教育・福祉	22,816	20,520	14,092	13,357	17,424	12.4%	130.4%	4,067	17,642
経済・産業	8,712	4,744	3,022	8,515	10,739	7.6%	126.1%	2,224	7,146
政治・行政	6,122	4,427	630	1,700	1,773	1.3%	104.3%	73	2,930
文学・法律	50	395	68	692	794	0.6%	114.7%	102	400
医学・薬学	26,371	17,032	19,420	14,490	12,665	9.0%	87.4%	▲ 1,825	17,996
工学・理学	3,464	3,987	5,256	7,760	7,036	5.0%	90.7%	▲ 724	5,501
スポーツ	55,137	67,901	44,187	48,941	76,924	54.6%	157.2%	27,983	58,618
その他	2,891	300	3,231	10,105	13,558	9.6%	134.2%	3,453	6,017
計	125,563	119,306	89,906	105,560	140,913	100.0%	133.5%	35,353	116,250

(人)

分野別平均参加者数(H26-H30)



※スポーツを除く

(4) 参加者数別

「300～499」「200～299」を除いた区分で開催件数・参加者数ともに増加となり、「2,000～」 「500～999」はスポーツコンベンション、「100～199」「30～99」は組織／団体コンベンションの開催が例年よりも多かったことにより、近年で最も高い水準に達した。近年の傾向である100名未満の小規模コンベンションの増加は続いたが、1,000人以上の大規模コンベンションの減少は止まった形となった。

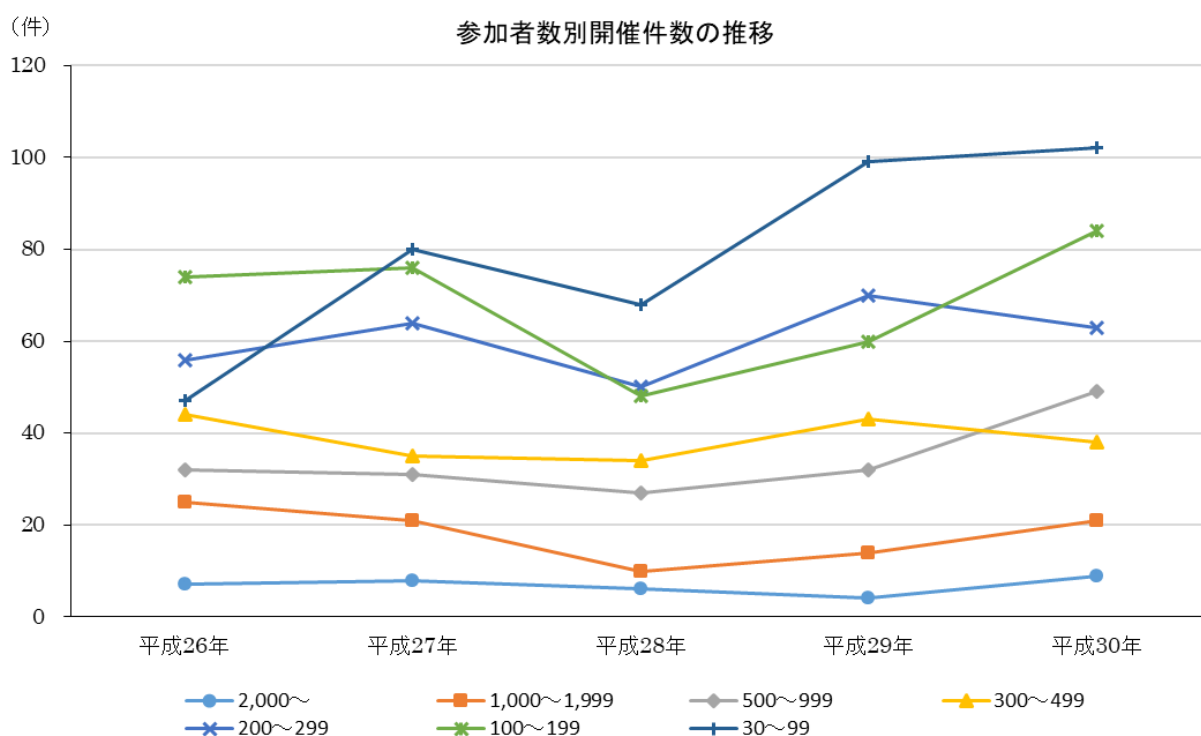
大規模コンベンションの「2,000～」 「1,000～1,999」の2区分において、開催件数では全体の10%に満たないが、参加者数では45%を超える構成比となった。一方、小規模コンベンションの「30～99」は、開催件数では全体で最も高い構成比(27.9%)となったが、参加者数では5%に満たない結果となった。



■ 参加者数別開催件数の推移

(単位：件)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
2,000～	7	8	6	4	9	2.5%	225.0%	5
1,000～1,999	25	21	10	14	21	5.7%	150.0%	7
500～999	32	31	27	32	49	13.4%	153.1%	17
300～499	44	35	34	43	38	10.4%	88.4%	▲ 5
200～299	56	64	50	70	63	17.2%	90.0%	▲ 7
100～199	74	76	48	60	84	23.0%	140.0%	24
30～99	47	80	68	99	102	27.9%	103.0%	3
計	285	315	243	322	366	100.0%	113.7%	44



■ 参加者数別参加者数の推移

(単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)	増減
2,000～	32,187	31,695	27,473	23,215	37,589	26.7%	161.9%	14,374
1,000～1,999	31,800	25,773	12,318	17,380	26,684	18.9%	153.5%	9,304
500～999	20,399	20,726	17,542	20,109	31,485	22.3%	156.6%	11,376
300～499	15,930	13,057	11,973	15,745	13,981	9.9%	88.8%	▲ 1,764
200～299	12,453	13,995	10,888	15,778	14,290	10.1%	90.6%	▲ 1,488
100～199	10,027	10,064	6,341	7,986	11,351	8.1%	142.1%	3,365
30～99	2,767	3,996	3,371	5,347	5,533	3.9%	103.5%	186
計	125,563	119,306	89,906	105,560	140,913	100.0%	133.5%	35,353

(5) 月別

開催件数は、増加した月の中でも「10月」は学術及び組織／団体コンベンション、「11月」は組織／団体コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、50件を超える近年で最も高い水準に達した。

平均開催件数は「8月」「10月」「11月」が40件を超える高い水準となり、「8月」はスポーツコンベンション、「10月」「11月」は学術及び組織／団体コンベンションの開催が1年を通じて最も集中する時期であることが要因として挙げられる。

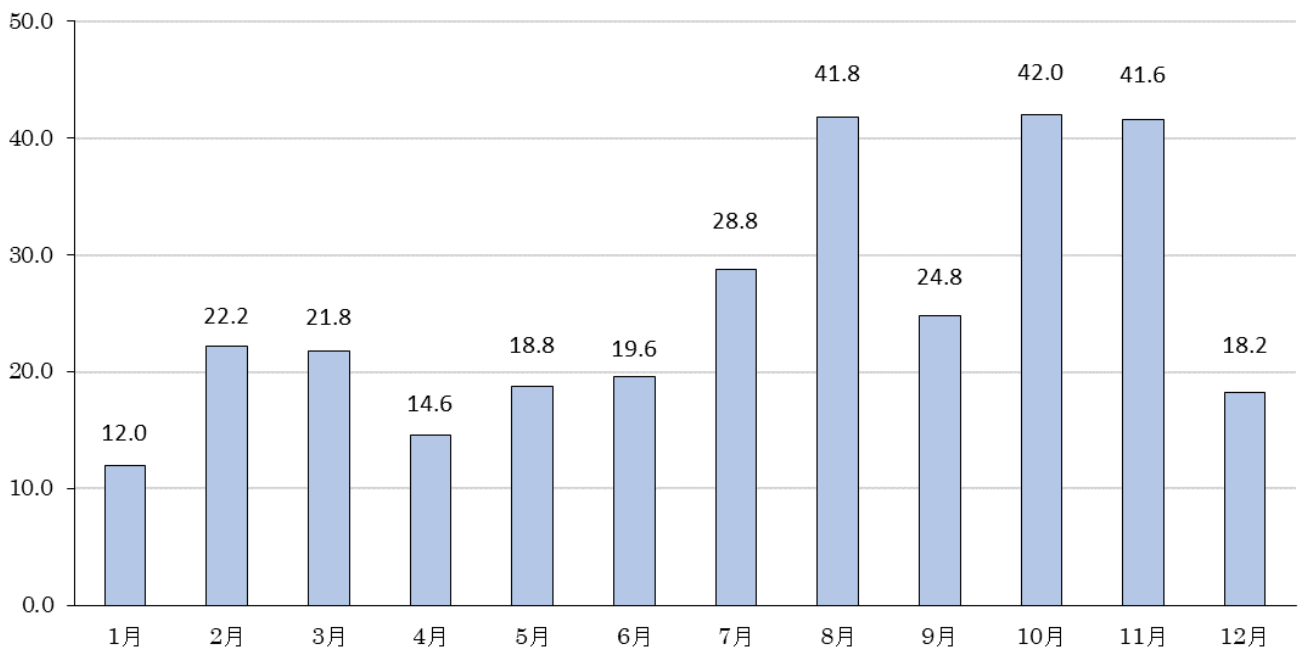
■ 月別開催件数の推移

(単位：件)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			平均	
	件数	件数	件数	件数	件数	構成比 (%)	前年比 (%)		増減
1月	7	6	21	12	14	3.8%	116.7%	2	12.0
2月	23	24	19	24	21	5.7%	87.5%	▲3	22.2
3月	21	14	18	22	34	9.3%	154.5%	12	21.8
4月	13	19	11	16	14	3.8%	87.5%	▲2	14.6
5月	21	26	0	23	24	6.6%	104.3%	1	18.8
6月	22	20	4	28	24	6.6%	85.7%	▲4	19.6
7月	30	33	14	32	35	9.6%	109.4%	3	28.8
8月	41	45	31	47	45	12.3%	95.7%	▲2	41.8
9月	22	23	25	25	29	7.9%	116.0%	4	24.8
10月	37	44	37	36	56	15.3%	155.6%	20	42.0
11月	37	41	40	39	51	13.9%	130.8%	12	41.6
12月	11	20	23	18	19	5.2%	105.6%	1	18.2
計	285	315	243	322	366	100.0%	113.7%	44	306.2

(件)

月別平均開催件数(H26-H30)



参加者数は、増加した月の中でも「5月」は1,000人以上の大規模コンベンションの開催が1年を通じて最も集中したことにより、「10月」「11月」は開催件数と同様、学術コンベンションや組織／団体コンベンションが例年よりも多く開催されたことにより、「4月」は2000人以上の大規模スポーツコンベンションが複数開催されたことにより、近年で最も高い水準に達した。

平均参加者数は「2月」「8月」「10月」「11月」が1万人を超える高い水準となり、「2月」は熊本城マラソンの開催、「8月」「10月」「11月」は各形態のコンベンションの開催が集中する時期であることが要因として挙げられる。

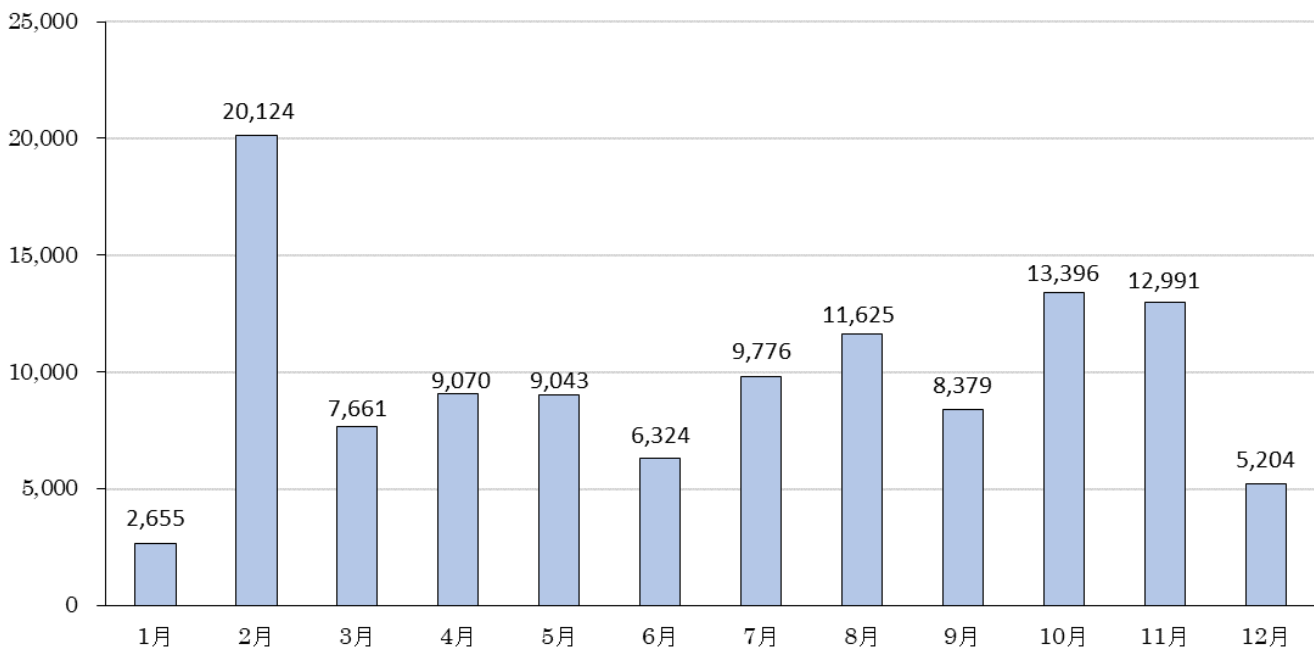
■ 月別参加者数の推移

(単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年			平均	
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	構成比 (%)	前年比 (%)		増減
1月	1,506	1,609	5,389	1,701	3,072	2.2%	180.6%	1,371	2,655
2月	22,893	20,207	19,808	21,228	16,484	11.7%	77.7%	▲ 4,744	20,124
3月	13,281	4,933	4,624	6,157	9,311	6.6%	151.2%	3,154	7,661
4月	7,982	11,171	9,140	5,121	11,938	8.5%	233.1%	6,817	9,070
5月	7,227	15,074	0	5,743	17,171	12.2%	299.0%	11,428	9,043
6月	8,303	5,829	716	9,672	7,101	5.0%	73.4%	▲ 2,571	6,324
7月	12,104	12,557	3,445	9,763	11,013	7.8%	112.8%	1,250	9,776
8月	12,697	9,994	6,402	14,114	14,919	10.6%	105.7%	805	11,625
9月	7,168	8,745	10,596	8,857	6,527	4.6%	73.7%	▲ 2,330	8,379
10月	15,378	13,332	11,730	7,715	18,825	13.4%	244.0%	11,110	13,396
11月	12,914	10,210	11,007	11,401	19,423	13.8%	170.4%	8,022	12,991
12月	4,110	5,645	7,049	4,088	5,129	3.6%	125.5%	1,041	5,204
計	125,563	119,306	89,906	105,560	140,913	100.0%	133.5%	35,353	116,250

(人)

月別平均参加者数(H26-H30)



## <参考資料>

### 1. 熊本国際観光コンベンション協会助成金交付実績

#### ■ 助成制度別交付件数の推移

(単位：件)

助成制度名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比
コンベンション開催	100	81	77	98	98	100.0%
コンベンション誘致活動	2	1	0	0	1	-
スポーツコンベンション開催	23	31	14	14	30	214.3%
スポーツキャンプ	16	23	22	28	24	85.7%
スポーツキャンプ誘致	0	0	0	0	0	-
郷土芸能披露	24	27	13	17	14	82.4%
バス運行	4	0	3	11	7	63.6%
アフターコンベンション・ツアー実施	0	0	0	0	0	-
インセンティブ・トラベル誘致	3	2	2	3	1	33.3%
見本市・展示会開催	0	0	0	0	0	-
コンベンション開催事務局員雇用経費	1	1	2	0	4	-
計	173	166	133	171	179	104.7%

※ 1 案件で複数の助成を受けているケースがあり、延べ件数で表示

※ 昨年のコンベンション統計数字に誤りがあった為、下記のとおり修正

- ・ 平成 27 年合計件数 167 件⇒166 件
- ・ 平成 29 年インセンティブ・トラベル誘致件数 5 件⇒3 件

#### ■ 助成制度別交付金額の推移

(単位：円)

助成制度名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比
コンベンション開催	18,162,000	14,680,000	12,380,000	14,570,000	14,440,000	99.1%
コンベンション誘致活動	433,000	34,000	0	0	180,000	-
スポーツコンベンション開催	3,780,000	4,780,000	1,780,000	1,900,000	5,460,000	287.4%
スポーツキャンプ	2,278,000	3,129,000	2,520,000	3,481,000	4,424,000	127.1%
スポーツキャンプ誘致	0	0	0	0	0	-
郷土芸能披露	1,170,000	1,300,000	610,000	830,000	680,000	81.9%
バス運行	801,000	0	390,000	1,490,000	830,000	55.7%
アフターコンベンション・ツアー実施	0	0	0	0	0	-
インセンティブ・トラベル誘致	284,000	172,000	180,000	300,000	62,000	20.7%
見本市・展示会開催	0	0	0	0	0	-
コンベンション開催事務局員雇用経費	100,000	50,000	70,000	0	300,000	-
計	27,008,000	24,145,000	17,930,000	22,571,000	26,376,000	116.9%

※ 昨年のコンベンション統計数字に誤りがあった為、下記のとおり修正

- ・ 平成 27 年合計金額 25,585,000 円⇒24,145,000 円
- ・ 平成 29 年インセンティブ・トラベル誘致金額 462,000 円⇒300,000 円

**発行者**

**一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会**

TEL 096-359-1788 FAX 096-359-8520

HP:<http://www.kumamoto-icb.or.jp>

E-mail:mice@kumamoto-icb.or.jp